

みえ高齢者元気・かがやきプランの策定に当たって



我が国は急速に高齢化が進んでおり、誰も経験したことのない本格的な高齢社会を迎えています。今後も、高齢化はさらに進行し、2035（平成47）年には3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となることが予想されています。さらに、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加も見込まれます。

このような状況の中、すでに高齢者を取り巻く問題は顕在化しており、「孤立死」のほか、高齢者が高齢者を介護する「老老介護」、認知症の人が認知症の人を介護する「認認介護」などの厳しい介護実態や、「高齢者所在不明問題」などが大きく報道されています。

これらの高齢者を取り巻く問題を解決するためには「地域包括ケアの確立」が必要であると考えており、これまでの取組の検証も踏まえ、このたび「みえ高齢者元気・かがやきプラン」を改訂することとしました。このプランは、県民の皆様や関係者の方々と力を合わせて新しいものを創造していく「協創」により、地域包括ケアのもと、高齢者が元気にかがやきながら暮らせる三重県を実現するための取組をまとめたものです。

具体的には、「介護サービス基盤の整備」、「認知症総合対策の推進」、「地域包括ケアの構築」及び「介護・福祉人材の安定的な確保」の4項目に重点的に取り組むほか、「介護保険制度の円滑な運営」、「在宅生活支援の充実」及び「高齢者の安全・安心の確保」の3つの枠組みで、体系的な施策の実施をめざすこととしています。

特に、特別養護老人ホームの入所申込者の問題については、介護サービス基盤の整備を中心に、介護度が重度で在宅生活をしている待機者の解消に取り組むこととしています。

最後に、このプランの取組を通じて三重県の戦略計画である「みえ県民カビジョン」の着実な推進に取り組んでまいりますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

三重県知事 鈴木英敬